

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□カンボジア・インドネシア・ベトナムで、2022年度実施計画についての協議を実施

「技能評価システム移転促進事業（SESPP）」では、日本式技能検定のノウハウを海外に移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。

事業の効果的・効率的な実施を図るため、今年度の活動対象国であるカンボジアで5月27日（金）、インドネシアと6月6日（月）、ベトナムで6月22日（水）に各国政府人材開発部局と厚生労働省およびSESPP事務局を中心に当年度の実施計画についての協議を開催しました。インドネシアとはオンラインでの実施となりましたが、カンボジアとベトナムは3年ぶりとなる現地での対面協議を実施し、活発な意見交換を行うことができました。

協議では研修・セミナー及びトライアルの対象職種・等級、参加者、スケジュール、事業の達成目標やその手順等の調整を行い、実施方針を決定しました。各国の実施方針とポイントは以下のとおりです。

【カンボジア】

技能検定

- ・電気系職種（シーケンス制御、電気系保全、配電盤制御盤組立）の支援を行う。
- ・シーケンス制御は2級の技能評価トライアルを実施し、評価者認定を行う。
- ・電気系保全2級と配電盤制御盤組立2級は技能評価者講習と技能評価トライアルを行う。

技能競技大会

- ・昨年度より実施している情報ネットワーク施工職種の支援を行い、将来的にカンボジアでの国内技能競技大会を自立運営できる人材の育成を行う。

【ベトナム】

ベトナム政府の新政令に基づき新たにODA事業承認手続きが必要となった。手続き完了後、研修の準備を行う。

技能検定

- ・ハノイでは2020年度より実施している機械製図（CAD作業）3級の技能評価トライアルと評価者認定を実施し、国家検定に向けた支援を行う。
- ・ホーチミンでは機械検査2級の技能評価者講習と技能評価トライアルに加え、3級の評価者認定を行う。また、COVID-19の影響で2年間中断していたシーケンス制御2級の技能評価者講習と技能評価トライアルを行う。

技能競技大会

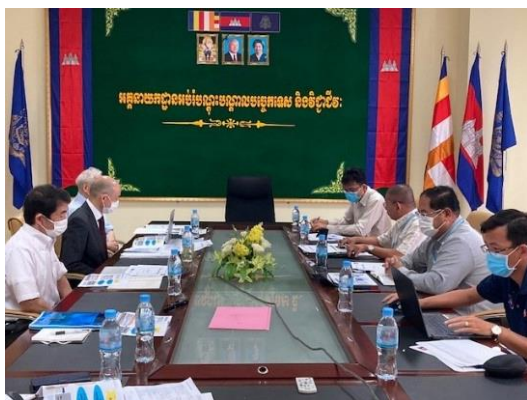
- ・昨年度より実施している情報ネットワーク施工職種の支援を行い、エキスパート・指導者へASEAN Skills等の国際競技大会での上位入賞を目指すことができる人材育成方法の指導を行う。

※ベトナムに関しては、上記新政令に基づく現地政府側での事業承認手続きが完了せず、対象国協議での合意内容での研修の実施が困難となっています。現地訓練機関、企業と連携の上、別の形での支援を検討中です。

【インドネシア】

技能検定

- ・本年度は専門家を現地に派遣し、機械製図（CAD作業）2級の技能評価トライアルと評価者認定を行う。



対象国協議の様子（カンボジア）



対象国協議の様子（ベトナム）

□ 2022年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

本年度は、カンボジア、インドネシアにて以下の現地研修を予定しております。ベトナムに関しては、実施内容が、決まり次第ご案内いたします。

技能評価トライアル（SET）は指導員向けの研修と模擬検定を実施します。

トライアルへの参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡ください。

ただし、機材の関係で定員が限られております。ご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
■ベトナム ・シーケンス制御2級SET/SAC ・配電盤・制御盤組立2級SAT/SET ・電気系保全2級SAT/SET ・機械検査3級SAT/SET ・情報ネットワーク施工AMM ・情報ネットワーク施工AMM ・本邦研修 技能競技大会セミナー	10月17日(月)～21日(金) 12月19日(月)～23日(金) 1月9日(月)～13日(金) 2月20日(月)～24日(金) 12月19日(月)～23日(金) 1月23日(月)～27日(金) 11月2日(水)～11日(金)	プレアコソマック工科職業訓練校（PPI） 産業技術大学（ITI） 国立高等技術職業訓練校（NTTI） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 幕張国際研修センター
■カンボジア ・シーケンス制御2級SET/SAC ・配電盤・制御盤組立2級SAT/SET ・電気系保全2級SAT/SET ・機械検査3級SAT/SET ・情報ネットワーク施工AMM ・情報ネットワーク施工AMM ・本邦研修 技能競技大会セミナー	10月17日(月)～21日(金) 12月19日(月)～23日(金) 1月9日(月)～13日(金) 2月20日(月)～24日(金) 12月19日(月)～23日(金) 1月23日(月)～27日(金) 11月2日(水)～11日(金)	プレアコソマック工科職業訓練校（PPI） 産業技術大学（ITI） 国立高等技術職業訓練校（NTTI） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC） 幕張国際研修センター
■インドネシア ・機械製図（CAD作業）2級SET/SAC	12月12日(月)～16日(金)	松下グローバル財団（YMG）

SAT : Skills Assessor Training（技能評価者講習） 技能検定試験を実施・運営する評価者を養成するセミナー

SEM : Skills Evaluation Method（技能評価技法研修）

基準と細目に基づく、学科・実技試験問題の作成と、実技試験の採点基準と実施要領の作成方法を学ぶ研修

SET : Skills Evaluation Trial（技能評価トライアル） 技能検定試験などを現地で試行的に実施

SAC : Skills Assessor Certification（技能評価者認定）

SETにおいて認定対象者を講師が一定の基準により評価し、基準を満たせば認定評価者として認定

AMM : Assessment and Marking Method（競技課題採点・評価方法セミナー）

技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナー

□研修レポート（各国で今年度の研修がスタートしました）

■カンボジアにおけるシーケンス制御2級の技能評価トライアル及び技能評価者認定

2022年10月17日(月)～21日(金) にシーケンス制御2級の技能評価トライアルと評価者認定がブレアコソマック工科職業訓練校（PPI）にて開催されました。

国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC）2名、国立高等技術職業訓練校（NTTI）2名、産業技術大学（ITI）1名、PPI2名の計7名の評価者が受講し、講師は2018年度より指導をいただいている内山 聡氏（株式会社デンソー）にご協力いただきました。

2020年度に3級の評価者認定を行う予定でしたが、Covid-19の影響で、現地研修が出来ず、2020年度は3級の技能評価技法研修、技能評価トライアル、2021年度に2級の技能評価者講習、技能評価トライアルをオンラインで行っていましたが、3年ぶりに専門家をプノンペンに派遣しての、現地研修を実施することが出来ました。

研修では、評価者が備えておかなければならない技術の指導、技能評価トライアルの準備が3日間にわたり行われ、最終日に技能評価トライアル、技能評価者認定が行われました。

最終日の技能評価トライアルでは6名が受検し、うち3名が合格しました。

更に評価者認定が行われ、受講者7名全員が合格し、7名の認定評価者が誕生しました。

講師の内山氏からは、『5年の歳月を経て課題であったPLCのプログラミングもスキルを向上させることができ、評価者として試験の準備・運営・採点・異常対応など全てに満足する結果となった。カンボジアにおいても「シーケンス制御」は、職種の中で重要な要素と捉えられており、労働職業訓練省（MoLVT）の進めるCQF（Cambodia Qualifications Framework：カンボジア資格枠組み）に組み込む方向で動き、検定試験として認可されることを期待している』との講評をいただきました。

受講者からは、「制御システム分野の発展のために、継続して次の人を養成するようにしてほしい」、「1級の研修を行ってほしい」、受検者からは「試験の前にトレーニングをしてほしい」等の意見が寄せられました。



内山専門家による講義



内山専門家による講義



評価者による実技試験の運営



評価者による実技試験の運営

■ 2021年度(令和3年度)日本の技能検定実施状況について

2021年度は97.2万人が受検し、うち36.8万人が合格して「技能士」の称号を手に入れました。創設当初からの合格者の累計は8,005,384人にのぼります。2020年度(令和2年度)は新型コロナウイルス感染症の影響により前期試験は中止されました。2021年度は2019年度(令和元年度)と比較して受検申請者数が11.6%、合格者数が1.2%の増加となりました。

2021年度を等級別にみると受検者が最も多かった等級は2級でした。職種別に見ると受検者が最も多かった職種は、ファイナンシャル・プランニングで、以下、機械保全、機械加工、とび、機械検査、と続いています。

◆ 等級別の実施状況

等級 (技能検定の合格に必要な技能及び知識)	受検申請者数 (令和元年度比)	合格者数 (令和元年度比)	合格率 (令和元年度比)
特級 (管理者又は監督者に必要な技能及び知識)	4,825人 (-1.5%)	1,993人 (+197.5%)	41.3% (13.7%)
1級 (上級の技能労働者に必要な技能及び知識)	100,543人 (+4.6%)	30,086人 (+1.2%)	29.9% (30.9%)
2級 (中級の技能労働者に必要な技能及び知識)	390,241人 (+18.7%)	111,227人 (+19.6%)	28.5% (28.3%)
3級 (初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	345,409人 (+23.5%)	173,410人 (+30.2%)	50.2% (47.6%)
単一等級 (等級に区分していない職種で、1級相当の技能及び知識)	2,993人 (+6.2%)	1,584人 (+3.9%)	52.9% (54.1%)
合計	844,011人	318,300人	—

※上記に加え、技能実習生を対象とした検定が有り(基礎級、随時3級、随時2級)、2021年度は128,405人が受検し、49,736人が合格しています。

◆ 受検申請者数の多い職種(全等級合計)

職種名	受検申請者数	令和元年度比	合格者数	前年度比
ファイナンシャル・プランニング	619,650人	+30.6%	208,484人	+46.0%
機械保全	34,347人	-11.2%	14,775人	-6.7%
機械加工	22,082人	-16.9%	11,041人	-31.6%
とび	18,146人	-0.5%	7,520人	-36.8%
機械検査	16,924人	-13.1%	8,246人	-29.6%

(参考)厚生労働省報道発表資料 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27241.html

発行：SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266
 担当 : 近藤・池田・岩下
 E-mail : sespp@jtb.com